

田中康夫の



138

## 「和して同ぜず」

「アメリカ合衆国政府は、中国はただ一つであり、台湾は中国の一部であるとの中国の立場を認める」。「アメリカ合衆国は、中華人民共和国政府が中国の唯一の合法

華人民共和国との間の外交関係樹立に関する共同コミュニケ」は「曖昧」でなく「明確」そのもの。

2025年12月19日、国家安全保障問題担当大統領補佐官も兼任の対中強硬派と目されていたマルコ・ルビオ国務長官は「地政学上の重要な存在」が「世界第2位の経済大国」で「日中の応酬は両国間で解決すべき問題」と言明。前稿「戦略的現実主義」で言及のランド研究所国家安全保障研究部も「米中ライバル関係の安定化」論文で「台湾問題の安定化には統一に向けて北京が段階的アプローチを追求する最大限のインセンティブ創出が肝要」と提言。女性宰相「台湾有事」発言を巡って「浅慮浅薄」「快刀乱麻」と喧しい島国は、今や周回遅れ状態。

ワシントンDCのニュースメディア「Politico」[Defense One]は12月10日、ドナルド・トランプ政権「NS国家安全保障戦略」の「非公開版」をスクープ。北米2・欧州4・名誉白人1「会議は踊るG7」に愛想を尽かしたドナルドは米中露印日「核心的利益同盟C5」を「和して同ぜず」戦略に基づき画策。用意周到に名誉

白人ATM国家も末席へと加えて。であればこそ今一度、客家系華人4世のシンガポール初代首相リ・クワン・ユー李光耀が1999年上梓の「回顧録」で述懐の諫言を拳拳服膺すべき。

「日本人は、日本人より文明が低く民族的に劣ると見なしているアジア人と一緒に思われることを嫌っていた」。「天照大神の子孫で、選ばれた民族であり遅れた中国人やインド人、マレー人と自分は違うと考えていた」。「我々に対して

も征服者として君臨し、英国よりも残忍で常軌を逸し、悪意に満ちていることを示した。日本の占領の三年半、私は日本兵が人々を苦しめたり殴ったりするたびに、シンガポールが英国の保護下にあればよかったと思った」。「同じアジア人として我々は日本人に幻滅した」。「戦争が終わって50年もたつのに、歴代の自民政権政府は、そして主要政党の主だった指導者、学界、そして大半のメディアはこの悪魔の行いについて語ろうとしない」。「ドイツと違い、彼らは世代が過ぎていくことでこのような行いが忘れられ、彼らの行為の記述が埃をかぶった記録の中に埋も

れさられてしまうことを願っている」。「これらの過去を隣人に対して認めないならば、人々はこうした恐怖が繰り返されることもありえると恐れるかもしれない」。

「分割統治」インドで製造のアヘンを中国で売り捌いたイギリス。イスラエルへ武器輸出でガザのジエノサイドに加担する近時のドイツ。二枚舌な両国に負けず劣らず、大英帝国軍に代わって新加坡を占領の大日本帝国軍が犯した数万人に達する「華人肅清事件」犠牲者を忘るべからずと。

とまれ、ハンガリーのオルバン・ヴィクトル首相を筆頭にスロバキア、イタリア、ベルギーも「凍結ロシア資産」流用に反対する中、ヒラリー・クリントンとヴィクトリア・ヌーランド劣化版のウルズラ・フォン・デア・ライエンとカヤ・カッラスの女性コンビがウオロディミル「敗北確定」ゼレンスキーと猪突猛進な欧州の衰弱に見切りを付けた米国。

翻って1972年「日中共同声明」で台湾に関して「米中共同コミュニケ」と同等の正文を認めていた日出ずる国の「健忘症」は深刻です。

★次号2月号の発行日は一月30日(金)です。